

記録会競技上の注意、申し合わせ事項

1 競技について

2021年度日本陸上競技連盟規則、本競技会申し合わせ事項および日本陸連が策定する新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに沿って競技を運営する。

2 招集について

1次招集は行わない。トラック競技は競技開始予定時刻の20分前、フィールド競技は同じく40分前（棒高跳びは60分前）に競技開始地点で点呼を行う。点呼時に現地にいない選手は、欠場として扱う。

3 アスリートビブス

所定のナンバービブスを胸、背に確実に結着すること。（跳躍種目は胸または背どちらかでも良い。）

トラック競技の腰ナンバー標識は、スタート地点で配布し、ゴール地点で回収する。右腰やや後方に結着すること。

4 トラック競技について

- ・不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。（競技規則 TR 16. 7）
- ・各競技すべてタイムレースとする。
- ・ハードル競技の規格は次の通りとする。

競技種目	高さ	ハードル間	競技種目	高さ	ハードル間
男子 110mJH	0.991m	9.14m	女子 100mYH	0.726m	8.50m

5 フィールド競技について

- ・すべて試技は3回とする。
- ・投てき物の重量は要項の通りとする。※ジャベリックを持ち込む場合は学校名記入

競技種目	重量	競技種目	重量
男子円盤投	1.50kg	女子円盤投	1.00kg

- ・棒高跳びの練習および競技開始の高さは、点呼時に伝える。

6 その他

- ・競技場でのウォーミングアップは9時10分までとする。
- ・1000mの競技以外の時間はバックストレートを使ってウォーミングアップを行っても良い。＝サブグラウンドは使用不可とする。
- ・ごみはすべて持ち帰ること。
- ・競技中以外はマスクをしっかりと着用するなど、新型コロナウイルス感染症の感染予防行動をとること。また、受付時に各校で健康チェックを行い、事前に配布してある健康チェックシートを提出すること。
- ・競技終了後に、U16陸上競技大会の県代表選手が選出された学校の顧問は、全国大会の申込等の打合せ会を行うので、必ず本部に集合・出席してください。

※競技場内には、選手、競技役員以外は立ち入ることはできません。